1	(1)	115	(2)	87.0 0.3	(3)	1/2	
	(4)	76. 7	(5)	163	(6)	112	
	(7)	76	(8)	511.8 (kg)	(9)	256.8	dL)
	(10)	$\begin{array}{c c} \hline \\ 1 \\ (\textbf{ph}) \end{array} \begin{array}{c c} \hline \\ 22 \\ (\textbf{h}) \end{array} \begin{array}{c c} \hline \\ 36 \\ (\textbf{h}) \end{array}$	(2)(1	0);各完答			
2	(1)	7	(2)	46 _{番目}	(3)	32	举 目
3	(1)	210	(2)	3300	(3)	33	人
4	(1)	37	(2)	45	(3)	19684	
5	(1)	3 通り	(2)	6 通り	(3)	10	通り
6	(1)	5.5 cm	(2)	288 cd	(3)	40	cm²

- $\boxed{1}(3) \quad 8\frac{5}{12} 1\frac{7}{12} (1\frac{11}{12} + 4\frac{5}{12})$ $= 6\frac{10}{12} 6\frac{4}{12} = \frac{6}{12} = \frac{1}{2}$
 - (4) $28.1 \times 7 432 \div 3.6 = 196.7 120 = 76.7$
 - (5) $363 \{222 \div (21 \times 8 1134 \div 7) + 156 \div 12\} \times 4$ = $363 - (222 \div 6 + 13) \times 4$ = $363 - 50 \times 4 = 163$

 - (7) $266 \div 14 + 431 \div 14 + 367 \div 14$ = $(266 + 431 + 367) \div 14$ = $1064 \div 14 = 76$
 - (8) $38.3 \text{kg} \times 12 + 2900 \text{ g} \times 18$ = $38.3 \text{kg} \times 12 + 2.9 \text{kg} \times 18 = 459.6 \text{kg} + 52.2 \text{kg} = 511.8 \text{kg}$
 - (9) $2440 \text{ cm} \times 12 68.4 \text{ L} \div 19$ = 24. $4 \text{dL} \times 12 - 684 \text{dL} \div 19 = 292.8 \text{dL} - 36 \text{dL} = 256.8 \text{dL}$
 - (10) 8 時間÷ 6 = \mathfrak{J} (時間) 余り 2 (時間) (60×2+15)÷ 6 = \mathfrak{Z} (分) 余り 3 (分) (60×3+36)÷ 6 = \mathfrak{Z} (秒)
- ②(1) 1/2, 1/3, 2, 1/4, 3, 2, 1/5, 4, 3, 2, 1/6, 5, … 上のように区切っていく。 30=1+2+3+4+5+6+7+28グループの2番目→8, 7
 - (2) 10がはじめて出てくるのは、10グループの1番目。 $1+2+3+\cdots+8+9+1$ $=(1+9)\times 9\div 2+1=46$ (番目)
 - (3) 5 が 4 回目に出てくるのは、8 グループの 4 番目。 1+2+3+4+5+6+7+4=32(番目)
- ③(1) 使用料+テキスト代×15= $430\times15=6450$ (円) 使用料+テキスト代×20= $375\times20=7500$ (円) テキスト代×5=7500-6450=1050(円) $1050\div5=210$ (円)…テキスト代
 - (2) 6450-210×15=3300(円)…部屋の使用料
 - (3) $3300 \div (310 210) = 33(\checkmark)$
- 国(1) 差が大きくなるような取り方を考える。 (1, 29, 39)→29, 39が同じ列にあるため不適。 (2, 28, 39)→適する。 よって、39-2=37

- (2) $2100 = 2 \times 2 \times 3 \times 5 \times 5 \times 7$ $\times 5$ を 2 つの数に分けると、その 2 つの数は同じ列になってしまうため、 $\times 5$ はまとめなければならず、 $5 \times 5 = 25$ が確定する。25のたて、横にならんでいる 7 の倍数は使えないので、使える 7 の倍数は、7 と 14。14のとき、残りの数は 12。14のとき、残りの数は 140 とき、残りの数は 140 とき、残りの数は 140 とき、残りの数は 140 とき、残りの数は 140 とも考えられる。141 142 142 143 144 144 144 144 145 145 145
- (3) 和の最大は、17+28+39=84で、和が同じとき、差が小さい方が積は大きくなる。よって、19×28×37=19684
- [5(1) (赤, 青, 赤, 青)(赤, 青, 青, 赤)(青, 赤, 青, 赤) の3通り。
 - (2) (赤,青,○,○,○)のとき 残りの赤1個,青2個の並べ方は,問題文の3通り。 (青,○,○,○,○)のとき 残りの赤2個,青2個の並べ方は,(1)の3通り。 よって,3+3=6(通り)。
 - (3) (赤,青,○,○,○,○,○)のとき 残りの赤 2 個,青 3 個の並べ方は,(2)の 6 通り。 (青,青,○,○,○,○)のとき 残りの赤 3 個,青 2 個の並べ方は,(赤,青,赤,青,赤)の 1 通り。 (青,赤,青,○,○,○)のとき 残りの赤 2 個,青 2 個の並べ方は,(1)の 3 通り。 よって,6+1+3=10(通り)。
- ⑥(1) 12×12÷2=72(cm)・・・三角形EFG 72×1.5=108(cm)・・・長方形ABCD プインが合同より、直角二等辺三角 8 cm ポの1辺は、12÷3=4 (cm) 右の図のようにわかる長さを書きこむ。108÷8=13.5(cm)・・・BC 13.5-8=5.5(cm)
 - (2) 長方形と直角二等辺三角形の面積が等しいことより、
 ⑦+⑦=①+96 ②の面積を①cm²とすると、⑦の面積は
 ④cm²、⑦の面積は⑨cm²となる。
 ④+⑨-①=⑫=96(cm²)
 ①=8(cm²) ④=32(cm²)
 ⑨=72(cm²)
 □×□÷2=8 □=4(cm)
 △×△÷2=32 △=8(cm)
 ○×○÷2=72 ○=12(cm) 96+12×16=288(cm²)
 - (3) △×△÷2=32 △=8 (cm)
 AHの長さを②cmとすると、
 ABの長さは⑤cm、FGの
 長さは⑤+8 cmとなる。
 四角形HFGIと四角形C⑤cm
 DIGは合同となるため、
 GF=DIとなる。
 AI×1.5=IDより、
 (②+8)×1.5=⑤+8 ③+12=⑤+8
 ②=4 (cm) ①=2 (cm) ⑤=10 (cm)
 10×4=40 (cm)…長方形ABFH